

生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 秋田職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社テクノ経営総合研究所

B. 組織マネジメント	組織力強化	管理者のための問題解決力向上
--------------------	-------	----------------

コースのねらい	組織問題に対し、業務の問題の本質を的確に捉え、業務の問題解決を図るための手法を学び、管理者として必要となる問題解決を実行するための知識と技能を習得する。
---------	--

		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1	組織の課題と対応策	(1) 管理者の心構え 組織の問題発生要因のひとつとなり得る管理者の言動を見直すために、昨今の管理者に求められる考え方についての説明を行う。特に、組織の成長の際に求められるサーバントリーダーについて理解をしていただく。	2.0
			(2) 組織の成長のためには 問題解決力、すなわち組織力向上のためには必要不可欠である「今どきの人材育成」について説明を行い、これからの育成について考える機会を作る。	
			(3) 目指すべき管理者とは【演習あり】 上記の説明を理解する中で、自分たちが目指すべき理想の管理者像を描く。また、その理想像とのギャップについての自己分析を行う。	
	2	問題の発見と見える化	(1) 真の問題の見つけ方 「問題とは何か」という基本的な言葉の意味を理解するとともに、その問題の見つけ方の切り口についての解説を行う。	2.0
			(2) 業務の見える化【演習あり】 活動の際に必ず問題となる「時間がない」という状況を打破するために、管理者とメンバーそれぞれの業務内容やそこに費やす時間を見える化し、時間を創出する手段を説明する。	
			(3) 問題を潜在化させないために【演習あり】 問題発見において、最も避けなければならない「問題の潜在化」を防ぐために、管理者が作り出すべき「心理的安全性」についての理解を深める。	
	3	問題解決に向けた取り組み	(1) 問題解決ストーリー 問題がなかなか解決できない主な理由である「成り行きに任せた活動」や「やらされ感の強い活動」を避けるために、失敗しない問題解決ストーリーを事例を交えて説明する。 特に、部下を動かすためのポイントについて理解を深める。	2.0
			(2) 問題解決のための管理者の人間力向上【演習あり】 問題解決には、管理者がメンバーを如何に動かすかが重要であるため、管理者に求められる人間力（コミュニケーション、コーチング、アンガーマネジメントなど）についての説明をする。	
			(3) 自職場の問題抽出と解決の方向性について【グループ討議】 自職場における問題をグループ討議による違った視点を入れることによって明確にし、その解決の方向性について多面的な討議を行う。	
合計時間				6.0